

| | | | |
|--|---|--|--------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 火 / Tue 4 |
| 開講期間 / Class period | 2016/09/30 ~ 2017/03/31 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 選択 / elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160587038901 | 科目番号 / Subject code | 05870389 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | GEMB 12511_005 | | |
| 授業科目名 / Subject | 芸術と文化 (ことばの世界) / World of words | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 山本 建雄 / Tateo Yamamoto, 宮下 茂 / Miyashita Shigeru | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 山本 建雄 / Tateo Yamamoto | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 山本 建雄 / Tateo Yamamoto | | |
| 科目分類 / Class type | 全学モジュール 科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | 教養教育A棟24 / RoomA-24 | | |
| 対象学生 (クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | yamamoto@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | 教育学部 6 2 3 | | |
| 担当教員TEL / Tel | 819-2300 | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | 月曜 | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 日本文化についての理解を、日本語の理解と表現の学習を通して、より広く、より深くするのが、本授業のねらいである。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 日本語の基礎的なことについて、幅広く確かな理解ができる。 日本語の音声表現について、資料に即し、確かな理解ができる。 日本語の文字表現について、資料に即し、確かな理解ができる。 | | |
| 授業方法 (学習指導法) / Method | 講義形式を中心に、演習形式のものも交える。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | | | |
| キーワード / Key word | 日本語、理解、表現、言語資料 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 毎回の資料は、そのつど担当者が用意する。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 5回程度、各回の授業内容の応用的理解に関わる小テストを実施する。これに加え、最終の16回目に、これまでの授業を通して学びえたことを総合して取り組むべき課題を用意し、最終試験とする。 | | |
| 受講要件 (履修条件) / Requirements | 日本語の理解と表現に興味と関心をもっていること。 | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考 (URL) / Remarks (URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | 毎回の授業内容に関係した発展的な読書を希望する。お勧めの図書については、そのつど紹介をする。 | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time (date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 日本語の表記 | | |
| 第2回 | 日本語の文法 | | |
| 第3回 | 日本語の語彙 | | |
| 第4回 | 日本語の論理 | | |
| 第5回 | 日本語の敬語法 | | |
| 第6回 | 方言と共通語 | | |
| 第7回 | 対話と討論 | | |
| 第8回 | 話芸 | | |
| 第9回 | 歌謡曲 | | |
| 第10回 | 手紙 | | |
| 第11回 | 俳句、短歌 | | |
| 第12回 | 物語、小説 | | |

| | |
|------|-----|
| 第13回 | 評論 |
| 第14回 | 報道文 |
| 第15回 | 総括 |
| 第16回 | 試験 |

| | | | |
|---|---|---|----------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 1ク ォーター / First Quarter | 曜日・校時 / Day・Period | 火 / Tue 4, 火 / Tue 5 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/06/04 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 選択 / elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160587040501 | 科目番号 / Subject code | 05870405 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | GEMB 12551_005 | | |
| 授業科目名 / Subject | 芸術と文化 (音楽) / Music | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 宮下 茂 / Miyashita Shigeru | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 宮下 茂 / Miyashita Shigeru | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 宮下 茂 / Miyashita Shigeru | | |
| 科目分類 / Class type | 全学モジュール 科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | [教育]音楽棟2F1番教室 | | |
| 対象学生 (クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | miyamo@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室/Laboratory | 教育学部 音楽棟2F 204 | | |
| 担当教員TEL/Tel | 819-2345 | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 月曜日12:50~14:20他 (詳しくは研究室前掲示参照) | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives | モジュール で修得した芸術の理解・表現方法に加え、音楽分野に関心のある学生に対し、声楽曲 の鑑賞と実技により、深い知識や研究態度を身につけることを目的とする。 | | |
| 授業到達目標/Goal | モジュール で身につけた、芸術の理解・表現を深めること。声楽独唱ができること。 | | |
| 授業方法 (学習指導法) /Method | 声楽曲及びオペラ作品に関する講義と鑑賞、問答、声楽実技に関する講義、実技 (歌唱) を行う。 声楽実技では、実践的に歌唱法を学び、斉唱のほか独唱を行うこともある。 | | |
| 授業内容/Class outline/Con | 授業計画を参照。 | | |
| キーワード/Key word | 声楽、歌曲、オペラ | | |
| 教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book | 授業計画に沿い、資料を配布する。音楽の視聴はCD、DVD、生演奏 (歌唱とピアノ伴奏) を活用する 。参考: 歌唱芸術 (白水社)、ドイツ歌曲の歴史 (音楽之友社)、3日でわかるクラシック音楽 (ダイ ヤモンド社)、もう一度学びたいオペラ (西東社)、絶対! うまくなる合唱100のコツ (ヤマハミュ ージックメディア) | | |
| 成績評価の方法・基準等/Evaluation | 奇数回提出の授業レポートの評価 (50%)、歌唱 (独唱) の実技試験 (50%) | | |
| 受講要件 (履修条件) /Requirements | 教室の座席定員 (音楽棟1番教室) が36名のため、最大受講者数を36名とする。定員を超えた場合は 、Nu-Webでの電子抽選を使用し、教養教育掲示板に結果を公表する。(指導教員への直談判無効) | | |
| アクセシビリティ/Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下 さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考 (URL) /Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | 授業ではクラシック音楽を取り上げます。歌唱芸術への興味と関心が持てること、自分にとっての 未知なる音楽を受け入れる柔らかな心を持って受講することを希望します。声楽実践では、一人で 人前で独唱する心構えが必要かと思われます。 | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回 (日時) / Time (date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 季節の歌 ~ 春 | | |
| 第2回 | 歌唱法入門1 (発声の理論と実践) | | |
| 第3回 | 歌曲の歴史 ~ 導入 ~ 日本の歌曲 (西洋音楽) の歴史 | | |
| 第4回 | 歌唱法入門2 (発声の理論と実践) | | |
| 第5回 | 歌曲の歴史 ~ 日本の歌曲 (西洋音楽) の歴史 | | |
| 第6回 | 歌唱法入門3 (発声の理論と実践) | | |
| 第7回 | 歌、歌曲、オペラ、声楽... 声楽ジャンルについて | | |
| 第8回 | 歌唱法入門4 (発声の理論と実践) | | |

| | |
|------|-----------------------|
| 第9回 | 詩と音楽の出会い ~ ドイツ歌曲の歴史 |
| 第10回 | 歌唱法入門5 (発声の理論と実践) |
| 第11回 | 詩と音楽の出会い ~ ドイツ語と音楽 |
| 第12回 | 歌唱法入門6 (発声の理論と実践) |
| 第13回 | ロマン派 ~ 「さすらい」について |
| 第14回 | 歌唱法入門7 (発声の理論と実践) |
| 第15回 | 音楽から見た「世界の言葉」と「学べる喜び」 |
| 第16回 | 歌唱実技試験 |

| | | | |
|---|---|---|----------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter | 曜日・校時 / Day・Period | 火 / Tue 4, 火 / Tue 5 |
| 開講期間 / Class period | 2016/06/14 ~ 2016/08/02 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 選択 / elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160587040901 | 科目番号 / Subject code | 05870409 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | GEMB 12561_005 | | |
| 授業科目名 / Subject | 芸術と文化 (美術) / Fine Art | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 佐藤 敬助 / Satou Keisuke, 宮下 茂 / Miyashita Shigeru | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 佐藤 敬助 / Satou Keisuke | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 佐藤 敬助 / Satou Keisuke | | |
| 科目分類 / Class type | 全学モジュール 科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | 教養教育A棟43 / RoomA-43 | | |
| 対象学生 (クラス等) / Object Student | 全学部・留学生35名限定 | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | keisuke@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室/Laboratory | 教育学部美術技術棟1F 119番教室 | | |
| 担当教員TEL/Tel | 095-819-2349 | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 毎週午後。面談や質問等は、メールによる事前アポイントをすること。 | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives | 立体(彫刻の世界)を通してその現実の日常空間を見つめながら、その素晴らしさを享受できるようにする事を目的として、小さな軟石を削ったり磨いたりしながら作品制作をしながら生活の中の豊かさを考えてみたい。 | | |
| 授業到達目標/Goal | 彫刻の作品鑑賞や作品制作を通して立体的な感性についての理解を深め、その感性を内包する自身の分析の一端をできるようにする。 | | |
| 授業方法 (学習指導法) /Method | 講義及び実際の作品(石を削ったり削ったり磨いたり)制作。また、彫刻の作品鑑賞も含む。 | | |
| 授業内容/Class outline/Con | 概要: 日常の生活空間は3次元であるはずなのに、その生活に対する意識の大半は2次元の要因を元にして営まれているといっても過言ではないようである。そこで、この授業においては、比較的やわらかい石を削ったり削ったりして出来上がる「EXLIBRIS(蔵書印)」の制作を通してその現実の日常空間を見つめながら、その素晴らしさを享受できるようにすることを目的としながら、生活の中の豊かさを考えてみたい。 | | |
| キーワード/Key word | 彫刻(美術)の鑑賞と制作 | | |
| 教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book | 必要に応じて資料を配布。5回目以降、制作に必要な素材と道具を必要とします。また、教材費として一人2000円程度かかる見込みですので、準備をお願いいたします。また道具として、鉄鋸、5寸釘1 2本、彫刻刀、鑿、木槌か金槌、マイナスのドライバー、紙やすり100番、180番、新聞紙 朝刊分程度、発砲スチール等クッション材として使用できるもの、軍手も準備してください。また、多少汚れてもよいように各自前掛けや机の汚れを取る台拭きの準備もお願いします。 | | |
| 成績評価の方法・基準等/Evaluation | 提出作品画像45%・レポート45%・授業への積極的な取り組み状態10% | | |
| 受講要件 (履修条件) /Requirements | 履修者多数の場合は、事前あるいは最初の授業時に抽選をして受講者を決定します。その他必要な場合は、掲示連絡をします。 | | |
| アクセシビリティ/Accessibility | アクセシビリティ 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考 (URL) /Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | 授業の中で作業をともなうかたちとなるため、汚れを防ぐもの(エプロン等)を各自で準備してください。 | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回(6月14日:4校時) | ガイダンス・授業進行予定・彫刻の見方・美術の鑑賞の仕方的一端について | | |
| 第2回(6月14日:5校時) | 長崎市の彫刻の鑑賞・彫刻というものの制作の過程 | | |
| 第3回(6月21日:4校時) | 「EXLIBRIS」とは | | |
| 第4回(6月21日:5校時) | 石材を手にしながらの着想とアイデアスケッチ | | |
| 第5回(6月28日:4校時) | EXLIBRISの制作開始 | | |
| 第6回(6月28日:5校時) | EXLIBRISの制作 | | |
| 第7回(7月5日:4校時) | EXLIBRISの制作 | | |

| | |
|-----------------|----------------------------|
| 第8回（7月5日：5校時） | EXLIBRISの制作 |
| 第9回（7月12日：4校時） | EXLIBRISの制作 |
| 第10回（7月12日：5校時） | EXLIBRISの制作 |
| 第11回（7月19日：4校時） | EXLIBRISの制作 |
| 第12回（7月19日：5校時） | EXLIBRISの版面の制作 |
| 第13回（7月26日：4校時） | EXLIBRISの版面の制作 |
| 第14回（7月26日：5校時） | EXLIBRISの印刷 |
| 第15回（8月2日：4校時） | EXLIBRISの印刷と作品提出および全授業のまとめ |
| 第16回 | |